

## 平成25年度第3回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成26年2月13日（木） 10:00 ～ 11:13

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員（5名）

東川 薫（委員長）  
伊藤由美子（副委員長）  
赤木 邦男  
佐藤 久善  
藤田 素弘

事務局（5名）

城田 直毅（総務部長）  
近藤 浩（契約監理課 課長）  
加藤周太郎（ 〃 主幹）  
伊藤奈雄（ 〃 契約係長）  
服部 博美（ 〃 契約係）

工事担当課（6名）

内山 勝博（土木課 課長）  
小林 剛美（ 〃 主幹）  
清水 高幸（ 〃 管理係長）  
小林 清巳（建築住宅課 課長）  
加藤 順一（工務課 主幹）  
中村 敏己（ 〃 下水道係）

## 事 項

### 1 開 会

#### 【事務局】

本日は、ご多忙の中、ご出席を賜りましてまことにありがとうございます。  
定刻になりましたので平成25年度第3回目の入札監視委員会を開催させていただきます。  
それでは、最初に、総務部長からご挨拶を申し上げます。

#### 【事務局】

改めまして、おはようございます。

本日は、平成25年度第3回桑名市入札監視委員会を開催いたしましたところ、委員の皆様には、年度末の何かとご多忙の中、ご出席をいただきましてまことにありがとうございます。本日も、お手元の事項書に基づき、ご審議をよろしく願いいたします。

さて、現在、公共工事におきましては、人手不足や資材高騰により工事を請け負う業者が決まらない入札不調が全国で深刻となっております。桑名市でも、総合医療センターの行う新病院の建設工事に業者の参加がなく、入札が中止されております。この新病院の建設につきましては、工事費と工期を見直し、再度入札準備を進めておりますが、本市でも土木工事などで24年度にはなかった入札不調が昨年

の秋ごろから既に十数件発生をいたしております。このような事態に対しまして、国は今月から公共工事の賃金水準を引き上げるなどの対応をいたしております。本市におきましても、来年度も入札不調が引き続くと危惧されることから、工事の設計内容の見直しや発注時期の検討による平準化を図るなどの対策が必要と考えております。

今後も、社会経済情勢の変化に合わせて、本市の入札が公平で透明性、競争性が発揮されるよう適切な対応に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の議事につきまして、改めてご審議いただきますようお願いを申し上げ、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

#### 【事務局】

本日の議事につきましては、お手元の事項書のとおりでございますので、ご審議をよろしくお願いいたしますと思います。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たしまして、有効に成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして、東川委員長からご挨拶を頂戴したいと存じますので、よろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

今日は、お忙しいところご出席いただきありがとうございます。先に総務部長より詳しく説明をいただきましたけれども、諸事情から非常に人手不足や資材高騰が進んできていると、素人ながら報道を見て感じているところですが、状況は非常に時期によって流動していくわけですから、余計にその状況の中で入札の公平性、透明性を保つということについては緊張感を持ってやっていただきたいと思いますので、ご協議のほうをよろしくお願いいたします。

以上です。

#### 【事務局】

どうもありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例の第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事を進行していただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

#### 【委員長】

それでは、事項書に基づきまして議事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日の会議は一般公開になっておりますけれども、現在、傍聴の希望をされる方はお見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もございますので、その時点でまた傍聴の可否について皆様にお諮りをさせていただきたいと思います。

それでは、早速審議に入りたいと思います。

## 2 議 事

### (1) 入札及び契約手続の運用状況について

#### 【委員長】

議事の1、入札及び契約手続の運用状況について、事務局のほうから説明をお願いします。

#### 【事務局】

それでは、入札及び契約手続の運用状況についてご説明させていただきます。

まず、1点目でございますが、指名停止の状況でございます。

資料の1ページをごらんください。

今回の審議対象期間であります平成25年9月から12月の4カ月間において、指名停止措置を講じた案件は1件でございます。本案件は、岡山県で発生した事故について、三重県が実施した指名停止に合わせまして、本市でも同等の措置を講じたものでございます。

続きまして、2点目の談合情報につきましては、対象期間内に寄せられたものはございませんでした。  
以上でございます。

【委員長】

では、ただいまのご報告につきまして、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

【委 員】

(特になし)

## (2) 抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、続きまして、議事(2)に進めてまいりたいと思います。

議事録を作成していただいておりますので、ご発言の際はマイクを使用していただくようによりしく  
お願いいたします。

審議に先立ちまして、抽出案件5件について説明を得るため、入札監視委員会条例第6条の規定に基づき、関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委 員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、関係者の出席を求めます。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、審議に当たりまして、今回の5件の抽出理由につきまして赤木委員から説明をお願いいたします。

【委 員】

まず、抽出理由書のとおりでございますが、1件目(有吉台地区道路改良工事)につきましては、失格者が多いことが理由でございます。2件目(情報ボックス仮配管用電柱設置工事)につきましては、落札率が高いことと応札業者が1者しかない、少ないということです。3件目(清風園空調設備改修工事)につきましては、応札業者の中で失格者が多いためという理由でございます。4件目(桑西幹線汚水管路施設工事(推進工))につきましては、発注金額が高額であるということで一応審議に入れました。5件目(中央通幹線本郷枝線汚水管路施設工事)については、落札率が高いことと応札業者が少ないという理由でございます。

以上です。

【委員長】

ありがとうございます。

### 抽出事案 1 有吉台地区道路改良工事

【委員長】

それでは、まず、第1案件、「有吉台地区道路改良工事」につきまして、まず、工事担当課から工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明を

お願いします。よろしくお願いします。

**【担当課】**

土木課でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、有吉台地区道路改良工事についてご説明させていただきます。

本工事は、既存の側溝の改修とそれに伴う舗装工事であり、現場には古い住宅地で石積みとか古いブロック塀があり、工事の影響を考慮して、事前調査をする必要がありました。

内容としましては、施工延長144m、舗装版取壊し工606㎡、側溝設置工、U型側溝の250mmでございますが、288m、簡易舗装工、舗装厚3cm、144㎡、舗装工、表層厚さ4cm、454㎡、また、構造物取壊し、既存側溝の取壊しとして24㎡と家屋事前調査1式を計上いたしております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

続きまして、事務局より発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料は5ページをごらんください。

入札方法につきましては、事後審査型条件付一般競争入札でございます。

それでは、入札参加資格要件から続けてご説明させていただきます。市内に本社、本店を登録している土木工事業の許可業者で、経審点数520点以上779点以下の者、ただし、一般許可業者に限り780点以上の参加も可としてございます。完成工事高は予定価格の2分の1以上であること、同種工事施工実績といたしまして、平成15年度以降、官公庁元請で土木工事一式の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び主任技術者を配置できることとしてございます。

続きまして、入札経過及び結果でございます。

資料は6ページをごらんください。

平成25年10月16日に入札を執行いたしましたところ、12者の応札があり、開札の結果、9者が最低制限価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち、最も低い価格で応札をされた有限会社ナカムラ建設を落札候補者といたしまして事後審査を行いました結果、適格でありましたので、当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き812万8,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございます。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いいたします。

**【委員】**

まさに抽出理由書のとおりでございますが、これほど失格者が多かった原因があれば教えていただきたいと思います。

**【担当課】**

今回、事業損失ということで家屋調査を見た中で、応札業者が入札金額を積算するに当たり、入札前に質問が出てきました。内容としまして、事業損失防止施設費の家屋事前調査で建物等の調査において、付帯構造物住宅敷地事前調査（工損調査）の技師A・B・C-技師A・C・D（人）の積算根拠がわからない、ご回答をお願いします。というもので、当市といたしまして、敷地面積の規模を150㎡未満で積算しているという回答をいたしました。三重県の積算基準（調査・測量編）平成25年11月改訂版で第1章工損調査業務費、5、附帯工作物の工損調査歩掛かりを参考にすれば積算できると思いますが、その辺りで応札業者の積算に差異が出てきたのかと推察されます。

以上です。

**【委員】**

もう少しわかりやすくお願いします。

**【担当課】**

一般的に工事費の積算は、直接工事費、側溝設置や舗装があつて、あと、経費について、共通仮設費、現場管理費、一般管理費とございまして、通常の工事であれば、率を掛けるだけで、共通仮設費、現場管理費、一般管理費の積算できますが、今回は共通仮設費の中に事業損失調査という積み上げ式のような項目を含んでおりましたので、その点で積算の差異が出たのではないかと考えております。

以上でございます。

【委員長】

ほかの委員の方はいかがでしょうか。

【委 員】

失格者が多いですから、事業者側から見て、積算が難しく、不明瞭な点もあったように思うんですが、今後何か改善の余地はありますか。

【担当課】

あくまでも三重県の積算基準、これは公表されていると思いますので、そちらのほうをしっかりと勉強していただければしっかり積算できるのかなと考えております。

以上です。

【委員長】

ほかにはいかがですか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては特に問題なしとさせていただきます。

## **抽出事案 2 情報ボックス仮配管用電柱設置工事**

【委員長】

次に、第2案件、「情報ボックス仮配管用電柱設置工事」につきまして、工事担当課のほうから工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【担当課】

土木課です。よろしくお願いいたします。

2つ目の一般競争、情報ボックス仮配管用電柱設置工事についてご説明をさせていただきます。

工事名、情報ボックス仮配管用電柱設置工事、設計額388万8,000円、工期が平成25年10月29日から平成26年1月8日まで、工事概要としましては、今回は都市計画道路の江場安永線と国道23号の交わる交差点改良工事に伴い、地下埋設物、国交省のものが、民間ではCTYとかラッキータウン、NTT、丸紅等の通信ケーブルがありまして、それを工事の支障になるということから、仮設、地上に上げるための仮設電柱を設置する工事であります。工事内訳といたしまして、コンクリート柱7本、9mが5本で長さ12mが3本、それと、ワイヤ2丈なんですけど、ワイヤ線が440m、それに通信ケーブルをひっかけるスパイラルになったつり金具の設置を同じく440mの工事内容でございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、事務局より発注公告及び入札経過についてご説明いたします。

資料は9ページをごらんください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。

入札参加資格要件といたしましては、市内に本店、または本社を登録している電気工事業の許可業者、経審点数450点以上の者としてございます。完成工事高が予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績といたしまして、平成15年度以降、官公庁元請で送配電設備工事の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び主任技術者を配置できることとしてございます。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料は10ページをごらんください。

平成25年10月16日に入札を執行しましたところ、1者から応札があり、開札の結果、最低制限価格以上予定価格の範囲内でございましたので、東新電機工業株式会社を落札候補者といたしました。事後審査を行いました結果、適格でございましたので、当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き388万円で契約を締結いたしました。

以上でございます。

【委員長】

それでは、ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

【委員】

1者のみが入札されて、落札率もほぼ100%に近いという結果ですが、この工事については適した業者というのがほとんどなくて、予想されたことなのか、それとも何か予想外で1者応札になったのか、そのあたりは何か考えられるところがあれば教えていただきたいと思います。

【事務局】

こちらの案件につきましては、電気工事業の登録業者、市内でこの案件に入札可能な件数といたしましては19者ございましたので、応札できる業者が少なかったわけではないと思います。ただ、同種工事施工実績を求めていますので、そこで施工実績のある業者が少なかった可能性はありますが、ただ電柱を埋めるという工事ですので、施工的には可能だと思っております。

【委員長】

工事担当課から補足はありますか。

【担当課】

今回の電柱を立ててワイヤを張るというのは、ほんとうに工事内容としては比較的簡易なものでありますけれども、今回の工事現場が国道23号の歩道を一部掘ったり、また、工期も2カ月ほどというところから応札者が少なかったと推察されます。

以上です。

【委員】

今、要件を充足する業者が市内に19者あるということですけど、施工実績の部分でその要件を欠くというのは何者ぐらいあるんですか。

【事務局】

こちらのほうで、施工登録してある実績で確認するだけですので、細かい施工実績が登録されていない可能性もございまして、詳しくはわからないんですけれども、電気工事業者であれば、基本的に送配電線設備という工事は今までにされてみえるだろうと考えております。

【委員】

わかりました。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

【委員】

この案件が抽出された理由である落札率が非常に高いということですが、予定価格については、どのように設定したのですか。

【担当課】

今回の積算についても三重県の建設基準、電気設備関係歩掛かり、また、単価については県単価と建

設物価版、細かい部材については一部見積りをとってございます。積算については何ら困難なものはないかと思っております。

以上です。

【委 員】

入札したのが自分のところ1者だけだということを知ることは可能なんでしょうか。

【事務局】

こちらの入札自体は電子入札で行っておりますので、職員も開札をするまでは何者が応札しているのか確認ができません。業者につきましても何者応札しているかというのは知ることができない状況になっております。

【委 員】

ありがとうございました。

【委員長】

ほかはいかがでしょうか。

こういう事例というのは以前から件数の増減としてはいかがですか。

【事務局】

25年度についてお話をさせていただくのであれば、前半、上半期の部分につきましてはある程度の応札者がございましたけれども、下半期、特に11月、12月以降につきましては、土木工事だとか、そういった工事についても1者だけの入札であったり、2者、3者といった応札者が少ない入札というのは件数が増えてきております。

【委員長】

一般的にこの工事の利益率について教えてください。

【担当課】

土木課では、電柱を立てたり、ケーブルやワイヤを張ったりという工事は今までに発注しておりません。今回、情報ボックスの仮設ということで、コンクリート柱とか、材料の占める割合も確かに多いのかなとは思っております。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては特に問題なしということにしたいと思います。

### **抽出事案 3 清風園空調設備改修工事**

【委員長】

次に、第3案件です。「清風園空調設備改修工事」につきまして、工事担当課のほうから工事概要書、位置図について説明していただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過について説明をお願いいたします。よろしくお願いいたします。

【担当課】

建築住宅課です。よろしくお願いいたします。

工事名、清風園空調設備改修工事、設計額3,113万2,000円、工期、平成25年12月3日から平成26年3月25日まで、工事概要、室内部分は既設ビル用マルチエアコン屋外機5台、屋内機50台を撤去し、撤去後、天井を補修し、新設、壁かけ型ルームエアコン50台を設置いたします。廊下

系統はビル用マルチエアコン屋外機2台、屋内機30台を撤去し、新設、ビル用屋外機2台、屋内機30台を設置いたします。それに付随する電気設備、建築工事一式でございます。

よろしくお願いいたします。

**【事務局】**

続きまして、事務局より発注公告及び入札経過についてご説明をいたします。

資料は13ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件といたしましては、市内に本社、または本店が登録されている管工事業の許可業者で、経審点数450点以上の者としていますが、3,000万円以上の下請契約を予定する場合につきましては、一般許可業者は不可と規定してございます。完成工事高が予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績といたしまして、平成15年度以降、官公庁元請で冷暖房空調設備工事の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の主任技術者を配置できることとし、3,000万円以上の下請契約を予定する場合につきましては、主任技術者に加えて監理技術者を配置することとしてございます。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料は14ページをお願いいたします。

平成25年11月20日に入札を執行いたしましたところ、8者から応札がございました。開札の結果、6者が最低制限価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち最も低い価格で応札をされました株式会社後藤パイピングを落札候補者としてしまして事後審査を行いました結果、適格でございましたので、当該事業者を落札者と決定いたしまして、税抜き2,760万円で契約を締結いたしました。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございます。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いいたします。

**【委員】**

失格者が多い理由ですが、例えばエアコンが何十台とあるなかで、単価の違いなのか、付随の工事の積算の違いが出たのか、そのあたりの理由がわかれば教えていただきたいと思います。

**【担当課】**

工事費の積算につきましては、公共建築工事積算基準をもとに、建設物価、建設コストにより算出を行っておりますし、情報公開で過去に発注した同様の案件の金入設計書も見ることが可能です。今、委員が言われたように、一部メーカーの見積もり価格によるところがございますので、最低制限価格に近いところで失格者が出たと思われます。

**【委員長】**

ほかはいかがでしょうか。

**【委員】**

発注公告の入札参加資格要件の中に建設業の許可で特定と一般とあって、3,000万円以上の下請契約を予定する場合、一般許可業者は不可となっておりますが、この理由を教えてください。

それから、予定価格が3,100万円の工事に対して3,000万の下請というと丸投げに近いと思うんですけども、実際のところ、事業者はどの程度下請をしてみえるのか、疑問に思ったのと、特定の許可業者の場合は、下請に丸投げしてもよいと読み取れるのですが、その点について教えてください。

**【事務局】**

まず、特定許可と一般許可の要件についてですが、建設業法の中で3,000万円以上の下請を出す場合は特定の許可が必要という規定がございますので、3,000万円以上の下請契約をする場合は一



般許可業者は不可とさせていただいております。

本工事の予定価格が3,100万円となっておりますので、基本的に3,000万円以上の下請ということは、あり得ないとは思いますが、予定価格が3,000万を超えている案件にはすべて発注公告の中で、こういった規定を設けております。

また、特定許可で3,000万以上、下請に丸投げが可能かという点についてですが、建設業法の中で一括下請の禁止という規定がありますので、丸投げして下請することはないと考えています。

【委員】

本工事の場合、どの程度下請の割合がありましたか。

【担当課】

元請業者というのは、工事の監理が主体になってきて、業種別に個々に下請に仕事を任して、設備については電灯の専門の業者がおりますし、配線の専門の業者、それから、空調機の設備だけを取りつける業者、それぞれ細かいところに手配をしまして、それを監理していく業務というのが元請業務の仕事になります。一括して他の工事業者に下請させることは業法違反にあたりますが、本工事でも元請が監理技術者なり現場代理人を通して現場の監理をしていくというのが元請の仕事となっております。

【委員】

そうすると、元請業者は監理業務をやって、現場の工事に関してはそれぞれ抱える専門の業者に振っていることがかなりの割合であるというようなことでよかったでしょうか。

【担当課】

先ほどは極端な例のお話しですが、今回の場合ですと自前でできる専門の業種もありますので、その部分については当然直営で仕事をしていると思います。建築の場合もそれぞれ抱えの大工とか、専門の業種も常用で抱えている場合がありますので、その範囲につきましてはほとんど直営で仕事をしますが、部分的に細かいところを足し込んでいきますと、下請けの割合も大きくなってきます。

今回の場合は機器が大半を占めますし、80台ほどのエアコンに取りつける工事材料等、下請に出した部分を足し込んでいきますと下請率も相当大きな額になると思います。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

3,000万円以上の下請契約を予定する場合は一般許可業者は不可としているということですが、契約後に、元請業者がどの程度下請と契約をするかというところは、市で把握してみえるのですか。

【担当課】

発注公告で、許可区分の要件を付けておりますので、一般許可業者であれば、積算した中で下請が3,000万を超えとなれば、当然、応札する資格はないということで入札には参加しないと思います。下請については工事担当課で最終的に確認をしまして、適正に履行されておると報告させていただいております。

【委員長】

わかりました。

【委員】

資料の件について。変動型の最低制限価格を採用しており、基準価格を下回ったため失格となった者が6者おり、最低制限価格と基準価格が同額で変動はしていないということなんですが、前は最低制限価格算出根拠表が資料にあったんですが、この資料だけでは、基準価格がいくらであったか分かりにくいと思いましたので、次回から、入札経過及び結果のところに書いていただくといいかと思います。

以上です。要望でございますけど。

【事務局】

次回からコメント欄に基準価格を入れさせていただくような、わかるような形で資料のほうをお示しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

その点につきましてはよろしく願いいたします。

ほかはこの案件につきましてどうでしょうか。

【委員】

エアコン80台を取り付けるということで、当然メーカーの提示する価格は、メーカーごとに違っており、工事業者が負担する請負額に影響されてくると思いますが、メーカー指定はされないのですか。

または、ルームエアコンについて、条件設定した機能がついているもので、省エネ効果があるものなど、ある程度指定して発注をされるのですか。

【担当課】

メーカーにつきましては、指定をしております。また、機種の詳細につきましては、細かいところまで指定をしております。市が積算する場合は、メーカー3社の見積りを取りまして、一番安い価格に特定の掛け率を入れて積算をしております。また、失格者が多かったことに関連しますが、設計書の中で指定したルームエアコンを扱っている会社は5社、6社とありますので、業者はそこから選んで見積りをとっていただいたと思いますが、市が見積りをとったメーカー以外のところから見積りをとられたところもありますので、メーカー見積りの場合は見積りづらいところがあると思います。

【委員】

市が見積りをとった3社というのは入札前に大体公表はされるんですか。

【担当課】

公表はしていません。ただ、設計書の中に当然見積もりをとった3社のメーカーも含まれております。

【委員長】

今に関連してなんですけど、以前、ポンプかその関連品だったと思いますが、あるメーカーのポンプだとこの特定の業者が受注するとか、非常に得意だとか、そういう繋がりがあるようにお聞きしたことがあるんですけど、この場合もエアコンの会社が指定されていると、そのメーカーとつながりの深い業者が受注しやすいとか、そういう事情はありますか。

【担当課】

委員長のおっしゃったように、やはり取引実績の多い、そういうところだとやっぱり取引上掛け率というのは、実際に入る価格というのは安くなってくるかなと推測はするんですけど、元請業者にとって取引上有利なメーカーもあると思いますので、そのあたりにつきましては、得意とする取引先を選んでいただいているのかなと。ただ、基準を満たすような製品を納入していただくように、設計書の中で細かく指定をしております。

【委員長】

わかりました。ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては特に問題はないということにしたいと思います。

#### **抽出事案 4 桑西幹線污水管路施設工事（推進工）**

【委員長】

それでは、次に、第4案件です。桑西幹線污水管路施設工事（推進工）につきまして、工事担当課か

ら工事概要書、位置図の説明をしていただき、その後、事務局のほうから発注公告の内容、入札経過についてご説明をお願いします。よろしくお願いします。

**【担当課】**

工務課でございます。よろしくお願いします。

資料の15ページをお願いします。

工事名、桑西幹線污水管路施設工事（推進工）でございます。設計額1億4,273万6,000円、工期は平成25年10月8日から平成26年2月28日まで、工事概要でございますが、内径φ400mm管、推進工220.1m、内径φ440mm管、推進工75.7m、φ2,500、ケーシング立坑1カ所、φ1,800、ケーシング立坑1カ所、組立て2号マンホール設置工3カ所、附帯工事一式でございます。

16ページに位置図を示させていただいておりますが、赤い線のところが工事箇所となります。

以上でございます。よろしくお願いします。

**【事務局】**

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明をさせていただきます。

資料は18ページをお願いいたします。

本案件につきましては、低入札価格調査制度の試行案件でございます。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件といたしましては、本社、または本店が市内に登録されている土木工事業の特定許可業者で、経審点数780点以上の者としていただきます。完成工事高が予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績といたしまして、平成15年度以降、官公庁の元請で小口径管推進工法を採用した土木工事一式、または管渠推進工事の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の監理技術者を配置できることとしてございます。なお、こちらの案件につきましては、低入札価格で契約をする場合、現場代理人及び監理技術者のほかに、監理技術者に求める資格を有する者を専任の技術担当者といたしまして1名追加配置することとしてございます。

続きまして、入札の経過及び結果についてご説明させていただきます。

資料は19ページをお願いいたします。

平成25年9月25日に入札を執行いたしましたところ、5者から応札があり、開札の結果、調査基準価格を下回る金額で応札をした2者につきまして、応札額の低い順に見積内訳書を確認いたしましたところ、見積内訳書の判断基準を満たしておりませんでしたので、失格といたしました。次順位の霞興業有限会社の応札額につきましては調査基準価格以上でございましたので、当該事業者を落札候補者といたしました。事後審査を行いました結果、適格でございましたので、当該業者を落札者と決定いたしました。税抜き1億2,167万2,000円で契約を締結いたしました。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたらよろしくお願いします。

**【委員】**

今の失格の理由の中に桑名市低入札価格調査試行要綱の見積内訳書の判断基準を満たさないためというふうにあります。もう少し具体的にどういうことに抵触したから失格となったかのを教えてください。

**【事務局】**

見積内訳書の検討に係る判断基準につきまして少しご説明をさせていただきます。

こちらのほうは工事費の内訳の中で直接工事費だとか、共通仮設費だとかの内訳があるんですけども、そちらの項目の中で業者が積算した価格に対し、本市の設計価格の直接工事費の75%以上、共通

仮設費であれば70%以上、あと2点、現場管理費であれば70%、一般管理費であれば30%以上の積算金額でなければ工事の品質確保がなされないという判断をさせていただく形で、その基準を満たしていなければ失格とさせていただくものでございます。

失格となりました2業者につきましては、1番目の日本興業株式会社につきましては、現場管理費と一般管理費等がこちらの見積内訳書の判断基準を下回っておりましたので、失格とさせていただきました。天元工業株式会社につきましては、一般管理費等がこちらの失格基準の30%を下回っておりましたので、失格とさせていただいたものでございます。

【委員】

ありがとうございます。

【委員長】

低入札価格調査制度試行案件にされたということなんですけど、これは調査制度をやっている意義とこれをなぜこの案件に選んだのかという理由をお聞かせ願えますか。

【事務局】

低入札調査でございますが、まず、第1の目的といたしましては、ダンピング受注の防止ということです。調査基準価格といいますのが従来の最低制限価格の算出価格になりますが、その基準価格を下回って入札をされるということは、その工事の品質の確保がしがたいというところがございますので、そこを防止するというところで、技術者の追加配置であったり、前払金の支払限度の割合といった条件を少し厳しく設定させていただいて、その金額を下回って応札をされることに対して、通常よりリスクを負う形をとっております。

低入札調査の対象案件につきましては、要綱にて定めておりまして、総合評価落札方式で発注する工事、また設計金額1億円以上の建設工事と、設計金額1億円未満の建設工事で制度の適用が必要と認められる工事について対象の案件とさせていただいておりますので、今回の案件につきましては設計金額が1億4,000万ということで、対象案件とさせていただいております。

【事務局】

補足させていただきます。低入札を導入する理由の1つとして、工事の品質の確保ができるのであれば、少しでも安い価格で発注したほうが、市の財政的なメリットがあるというところも導入理由のひとつかなと思います。実際に制度を導入をさせていただいた中では、25年度については、4件の案件を試行案件にさせていただきましたが、1件について1,400万ほど安価になった工事もございますし、24年度については4件対象としたところ2件適用がありまして、500万円ほど下回り、財政的な効果が出たというところがございます。

以上です。

【委員長】

ありがとうございました。

ほかにはいかがでしょうか。

【委員】

直接この工事に限ってのことではないのですが、当然受注者は、工期設定の範囲内で工事を完了させなければいけないと思いますけれども、このたび消費税率が改正になりますよね。例えば、予期せぬことで材料の入荷が非常におくれてしまったとか、水害が急に発生したとか、業者の責任ばかりとは言えない理由で、工期が若干おくれてしまった場合、どうしてみえるのか。それから、消費税率の改正のところでおそらく発注は3月末までに一旦終わらせる形をとっていると思いますが、例えば3月から4月にかけての工期のものとか、あるいは3月末で区切っていて、あいにく4月にずれてしまった場合とかというときの対応というのはどのように考えていらっしゃるのか。

【事務局】

消費税についての対応につきましては、国のほうから通達が来ておりまして、取り扱いといたしましては、10月1日以前に契約したものについて、引き渡しは26年4月1日以降になった場合は消費税

率5%のままという形になってございます。10月1日以降に契約した工事につきまして、工期は3月31日までで引き渡しも3月31日までに済めば消費税率は当然5%なんですけれども、4月1日以降にずれ込んだ場合ですと消費税率は8%で支払いをさせていただくという形になっております。

あと、工事の内容で変更契約で金額が増えた場合とかの取り扱いですけれども、4月1日以降に引き渡しの工事の場合、10月1日以前に契約した工事でもございまして、変更した部分の金額、増額分については8%で支払いをかける形になってございます。

【委員】

ある市町村の場合で、5%で契約していた案件について、その完成引き渡しが4月になった場合でも、議会の承認を得てこの金額で決まっているのだから、その金額でないと困るというような話があったと聞いたわけなんです、桑名市としてはあくまでも国の通達にそって対応されるということによろしいでしょうか。

【事務局】

その対応をさせていただく予定をしておりますし、工期の延長につきましては、本市と業者の間で協議をかけまして、同意を得たうえで変更契約をさせていただきますので、形どおりの対応になろうかと思えます。

【委員】

ありがとうございました。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

【委員】

(特になし)

【委員長】

それでは、この案件につきましては特に問題なしといたしたいと思えます。

## **抽出事案 5 中央通幹線本郷枝線污水管路施設工事**

【委員長】

それでは、次に第5案件ですけど、中央通幹線本郷枝線污水管路施設工事、担当課から工事概要書、位置図について説明していただき、その後、事務局から発注公告の内容、入札経過についてご説明をお願いします。よろしくお願いします。

【担当課】

工務課でございます。よろしくお願いします。

資料の20ページをお願いします。

工事名、中央通幹線本郷枝線污水管路施設工事、設計額728万9,000円、工期は平成25年12月27日から平成26年3月14日まで、工事概要でございますが、污水管布設工φ150、101m、マンホール設置工(1号)1カ所、マンホール設置工(塩ビ)2カ所、ます設置工6カ所、ポリエチレン管布設工φ100、106.1m、ポリエチレン管布設工φ75、11.8m、空気弁設置工1カ所でございます。

22ページに位置図を示させていただいておりますが、赤い線のところが工事箇所となります。

以上でございます。よろしくお願いします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明をさせていただきます。

資料は23ページをごらんください。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件といたしましては、本社、または本店が市内に登録されている土木工事業の許可業者で、経審点数739点以下の者とさせていただいておりますが、一般許可業者に限りまして740点以上の参加も可とさせていただいております。完成工事高が予定価格の2分の1以上、同種工事施工実績といたしまして、平成15年度以降、官公庁元請で土木一式工事の実績を有することとしてございます。技術者要件につきましては、現場代理人及び主任技術者を配置できることとしてございます。

次に、入札の経過及び結果についてご説明させていただきます。

資料は24ページをお願いいたします。

平成25年12月18日に入札を執行いたしましたところ、1者から応札がありまして、開札の結果、最低制限価格以上予定価格の範囲内でございましたので、高木建設を落札候補者といたしました。事後審査を行いました結果、適格でございましたので、当該事業者を落札候補者と決定いたしました。税抜き728万円で契約を締結いたしました。

以上でございます。

**【委員長】**

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご意見、ご質問等お願いします。

**【委員】**

抽出席理由書のとおりなんですけど、こちら落札率がほぼ100%で1者のみ応札ということで、何か理由があるのか、それとも談合情報といったこともなく問題もなかったのか。ほぼ予定価格に近い金額で1者というのが気になってしまうのですが、何か理由が考えられるところがあれば教えていただければと思います。

**【事務局】**

先ほども少し説明させていただいた部分でもありますが、11月、12月以降、入札不調が増えてきているという中で、1者だけの入札であったりとか、応札者が少数であった案件が増えておりまして、この時期の入札案件につきまして、ほかにも1者の入札で落札率が90%超という案件がございまして、おそらく理由といたしましては、このあたりですと東海環状道路の工事の関係で、そちらの下請に入ってみえたり、もう既に桑名市や三重県等の工事を受注されてみえて、技術者がいないので受注できる業者が少なくなっていると考えられるのかなというところでございます。

**【委員】**

そうすると、入札不調の話が最初にございましたけど、入札不調が幾つかある中で何とか不調にならなかった例の1つで、入札不調が続いている中で、ある意味、業者側が強気に出られる現状があって、その結果がこの予定価格100%に近い応札ということで合っているのでしょうか。

**【事務局】**

委員のおっしゃるとおりだと思います。入札結果については、公開しておりますので、このあたりの案件につきましては、やはり1者の応札であったりとか、2者、3者の入札であったりとかという案件が続いているということを業者も認識されていますので、その中で予定価格に近い金額で応札された業者だと思います。

**【委員】**

そうすると、業者も商売ですので、できるだけ高い金額で落としたいという考えがあると。これは当たり前のことなんですけど、応札者が1者、2者、もしくは不調になるだろうと、他の業者が下請けや他の工事を受注している状況を見ながら、ほぼ100%で入れてみようかと思われるわけですね。

**【事務局】**

おっしゃるとおりだと思います。

**【委員長】**

ほかにはいかがでしょうか。

【委 員】

この案件の場合は何者ぐらいが応札可能ですか。

【事務局】

この予定価格で土木工事業一式ですと、通常というか、桑名市の登録業者であれば60者近くは応札可能な業者がいっぱいいます。

【委 員】

わかりました。ありがとうございます。

【委 員】

入札とは直接関係ないのかもしれませんが、先ほどの污水管施設工事というのもそうですが、こういった工事は計画的にされているんですか。毎年毎年少しずつ発注しているような工事になるんでしょうか。

【担当課】

下水道管については計画的に進めているんですが、今回の案件につきましては、桑名駅周辺事務所の開発区域内で開発関係の移転が済んだところや、道路が整備されるところへ、水道、下水、同時に埋設するという状況でございます。

【委 員】

これまでは違う管路を使っていたということですか。

【担当課】

この箇所については下水がまだ整備されていませんでしたので、今回新たに下水を整備するということでございます。

【委 員】

今後は、同じようなペースで毎年こういった管路の工事は発注されるのでしょうか。

【担当課】

下水につきましては、開発区域内で駅西との調整を図りながら行います。また、それ以外の市内の下水がまだ入っていないところにつきましても計画的に進めるということでございます。

【委 員】

今に関連して、下水の普及率というか、そのあたりはどのあたりまで進んでいらっしゃるのか、教えてください。

【担当課】

約80%、74%ほどでございます。

【委 員】

ありがとうございました。

【委 員】

計画的な工事ですので、もう少し工夫して発注できないかと思ったんですが、以前は市内業者を優遇したほうがいいという意見もしていたんですが、今の状況では、もうそのころとは全然状況が変わってしまったので、このような応札が続くようであれば、少し競争性を高めるような発注のことも考えたほうがいいかもしれない。

【事務局】

そうですね。基本的には市内優先発注としてございますけれども、競争性を確保するという点から、やはり発注の範囲を広げるということも1つの選択肢になろうかと思っておりますので、そのあたりも1つ今後の検討課題かと認識しております。

【委員長】

今のお話に関連してなんですけど、下水の整備に関してはある程度計画的に進めているということですから、次はこの区域の工事が発注されるなどというのは、専門の業者の方にはある程度わかるのですか。

【事務局】

下水道工事に限らずなんですが、桑名市のほうでは3カ月に1度、その年に発注するの工事の見通しを公表しておりますので、発注する工事の概要の検討はつくと思います。それを参考に見ながら入札の計画を立ててみえる業者もあると思います。

【委員長】

ありがとうございました。

ほかにはいかがですか。

それでは、この案件につきましては特に問題なしといたしたいと思います。

これで抽出事案の審議が終了いたしましたので、工事担当課の方はここで退室していただきます。どうもありがとうございました。

(工事担当課 退室)

次回の審議案件の抽出は、名簿の順によりまして佐藤委員のほうにお願いしたいと思います。よろしくをお願いします。

### 3 その他

【委員長】

委員の皆様は何かございますか。

【委 員】

(特になし)

【委員長】

では、事務局のほうから何かありますでしょうか。

【事務局】

特にございません。

### 4 閉 会

【委員長】

それでは、予定の議事は済みましたので、これで平成25年度第3回の桑名市入札監視委員会を終了させていただきたいと思います。また、本日の審議概要は、後日、事務局でまとめていただきます。本日はどうもお忙しいところをありがとうございました。

— 了 —